



地震火災避難訓練

11月6日（水）



高等聴覚特別支援学校と合同で避難訓練を行いました。今回は、地震の後に2階の理科室、3階の家庭科調理室で火災が発生したという設定で、高等聴覚グラウンドに避難しました。

避難時には、実際の地震を想定して、置かれた障害物の絵を避けながら、煙を防ぐためにハンカチで口や鼻を覆い、体勢を低くして逃げました。避難後には高等聴覚の教頭先生より講評をいただき、災害の際に必要なこととして、自分の命を自ら守る「自助」、地域で共に助け合う「共助」、公的機関による「公助」それぞれの大切さを話していただきました。



訓練後、小学部は全学年で防災学習を行いました。

普段何気なく歩いている通学路でも、地震の際には自動販売機や電柱が倒壊するなどの危険が生じるということをDVDで視聴したり、通学路で地震が起こった際には、頭を守って塀から離れるなど、実際に体を動かしたりしながら学習しました。3～6年生には自主通学をしている児童もいるため、「自助」の意識を高める良い機会とすることができました。



中学部は各学級で防災に関する学習を行いました。

地震の際の自分の身の守り方や、避難するときのルールなどを再度確認しました。実際に火災や地震が起こったときに「自助」だけでなく、中学生として「共助」の意識をもって行動できるように、学部内だけでなく学校全体に潜んでいる危険について、意見を出し合いながら学習を進めていきました。

